

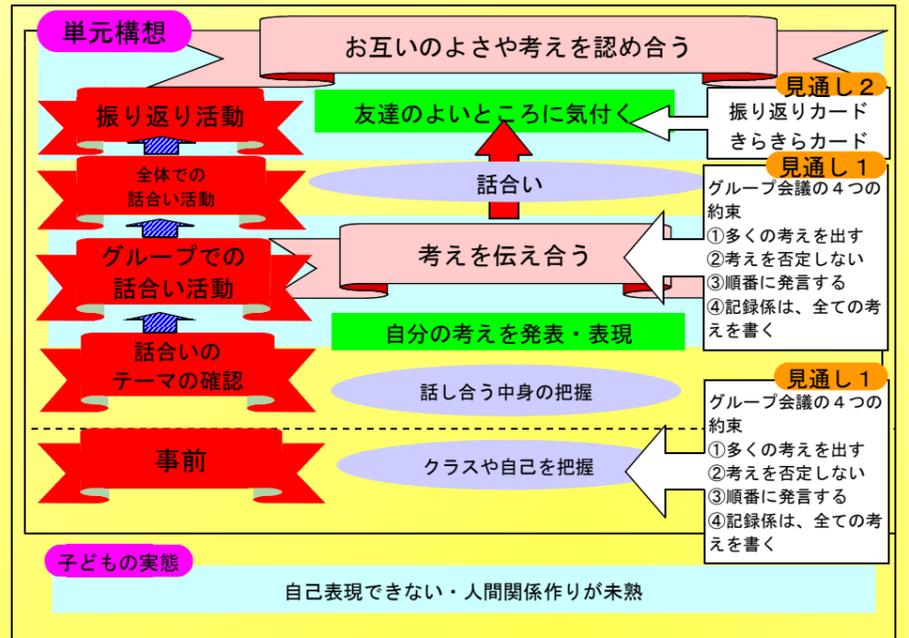
考えを伝え合い、お互いのよさや考えを認め合う子どもの育成

—グループ会議とよさを伝え合う活動を通して—

特別活動班 宮澤 美奈 (小学校教諭)

主題設定の理由

近年、子どもの遊ぶ時間の減少、様々な学年との交流や地域社会との繋がりの希薄化など、取り巻く環境の変化により、人間関係作りが身に付きにくくなってきている。本学級の子どもも、上手く自己表現ができない、人間関係作りが未熟という実態がある。そこで、話し合い活動で、一人一人が自分の考えを多く発表できる活動を取り入れ、考えを伝え合い、友達のよいところに気付き、お互いのよさや考えを認め合う子どもを育成しようと考えた。



実践 (3年生)

手だて1 グループ会議

- グループ会議とは、ブレインストーミングの手法を取り入れたものである。
- グループ会議では以下の四つの約束を設けることとする。

- ①多くの考えを出す。
- ②考えを否定しない。
- ③順番に発言する。
- ④記録係は、全ての考えを書く。

- ・必ず自分の発言する順番が来る。
- ・友達の考えに付け足し同意などで発表できる。
- ・どんな考えでも否定されないの、恥ずかしさが軽減される。
- ・記録係は順番で交代する。
- ・考えを全て書き留めることで、自己有用感が感じられる。

〈話し合いのテーマ〉「学級のよいところをふやそう」

「元気がある」「仲良し」「明るい」とか10個以上考えることができました。



わたしは、記録係だから、友達の考えを短くまとめて書こう。

次はほかの発表の番だ。○○ちゃんの考えと似ているな。



次に学級をよくするためにはどうしたらよいのかを話し合いました。「整列を早くする」について取り組んでいくことになりました。

- 振り返りカードの表記には、「自分の考えをしっかりと言えた」とほとんどの子どもが答えていた。グループ会議が「楽しかった」と感じた子どもなど、意欲に関する表記があった子どもが学級の半数以上いた。

- ◎これらのことから、話し合い活動の時間に、四つの約束を取り入れたグループ会議を取り入れたことは、一人一人がたくさん考えを出し合い、自分の考えを述べられるようにする上で有効であることが分かった。

手だて2 振り返りカード・きらきらカードによるよさを伝え合う活動

- 授業の終わりに、話し合いの振り返りをする。
- 友達の取組に対するメッセージが記述できるきらきらカードに、一人に一言よいところを見つけて、書いて渡す。
- もらったカードを貼り付けて、それを見ながら自由に感想を書いたり振り返りをしたりする。

ふりかえりこじんカード 名前()

①学級のよいところについて、よいところをのぼそうとしましたか。どでもそう思った・そう思った・あまり思わなかった・ぜんぜん思わなかった

②よくなかったところを直そうと思いましたが、どでもそう思った・そう思った・あまり思わなかった・ぜんぜん思わなかった

③グループでの話し合いでは、友達の発表をしっかりと聞き、自分の意見もしっかりと言えましたか。よくできた・まあまあできた・できた時とできなかった時があった・あまりできなかった・ぜんぜんできなかった

④ビンゴやグループ会議は楽しかったですか。あまり楽しかった・楽しかった・楽しかなかった

⑤今日の活動がよかったですか。感じたことや気づいたことを書きましょう。友だちのこと、話し合ったことやグループ会議のこと何でもいいです。

⑥友だちのきらきらカードを見つけてよかったですか。一人にひとことよいところを見つけてもらって、お礼の言葉を書いて渡そう。(はい、○○という意見わかりやすかったです。○○でいい意見だったよ。わたしもそう思ったよ。みんなの意見をまとめてくれたね。話がよかったです。うなずいてくれてありがとう、など)

友だちからもらったきらきらカードを貼ろう!

振り返りカードの表記

【自分の考えが認められたと感じた表現】



いい意見だったよと言われたので、すごくうれしいです。

わたしの班でベスト1に入れたのが、わたしの考えなのでうれしいです。



【相手の考えを認めたと感じた表現】



みんなが意見をいっぱい言ってくれたので、すごいなと思いました。



自分で思い付かなかったことを友達が言っていて、このクラスはいいところがいっぱいあるんだなと思いました。

きらきらカードの表記

いつもグループ会議の時、いい意見をいっぱい言ってくれて、ありがとう。

たくさん意見が言えてすごいと思いました。

意見が分かりやすかったよ。すごかったよ。

いろいろなアイデアを出して、すごい!

意見にうなずいてくれて、ありがとう。

ぼくの言ったことにさん成してくれて、ありがとう。

意見が同じだったね。話をよく聞いていたね。

いつもみんなの意見をまとめてくれてありがとう。

- ◎これらのことから、友達の取組に対するメッセージが記述でき、よさを伝え合えるきらきらカードを取り入れたことは、お互いのよさや考えを認め合えるようにする上で有効であった。

成果

- 一人一人がたくさん考えを伝え合ったり、出し合ったりして、自分の考えを述べられるようになった。
- きらきらカードを取り入れたことで、お互いのよさや考えを認め合えるようになった。

課題

- グループ会議を取り入れる際に、先に考えを記述できるようにするか、発表するか、内容や学年に応じて検討していく必要がある。
- 様々な教科や場面において、グループ会議を日常に取り入れて親しめるようにすることが大切である。